

大学等名：東京理科大学

テーマ：テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）・Ⅱ（学修成果の可視化）複合型

取組概要 ①「学修ポートフォリオシステム」(学修ポートフォリオ及びルーブリック)の導入による学修成果の可視化、②「授業収録配信システム」の整備によるアクティブ・ラーニングの促進、の2つの連携により、「学生自身による学修のPDCAサイクル」を確立する。学生は①により、自らの学修した内容や成果の確認、振り返りを行い(Checkの確立)、それをもとにして②により、その後の学修においてさらに主体的に学び、授業展開の中心的存在となる姿勢を醸成する(Actの確立)。

学修ポートフォリオシステムの整備
(学修ポートフォリオ+ルーブリック)

授業収録配信システムの整備

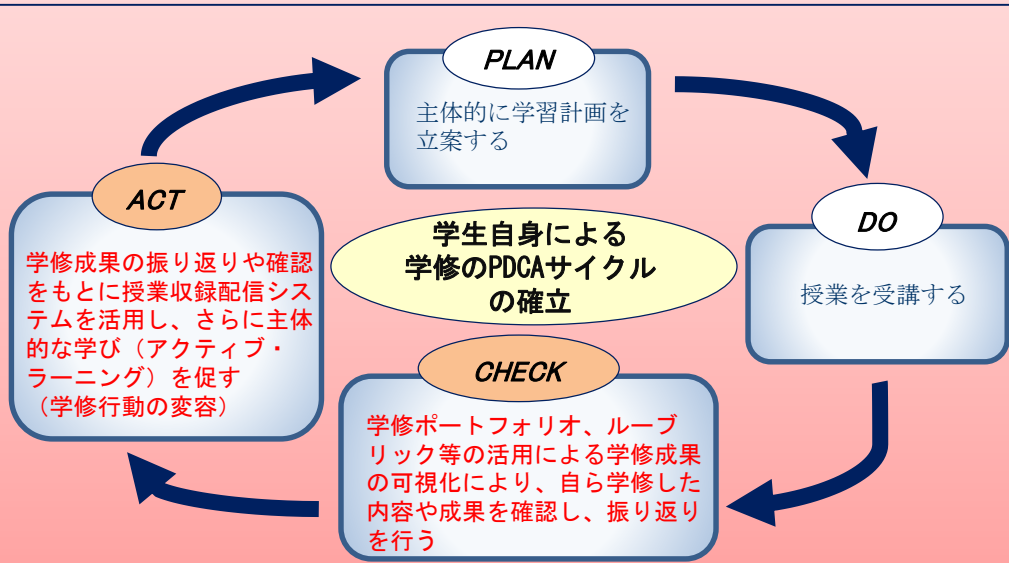


学修成果の可視化



学修ポートフォリオ：学生自身が学びのプロセスや成果(レポート、論文等)を示す資料等を継続的に蓄積したもの。学生は継続的かつ定期的に学びを振り返ることを通じて、学修の到達度を確認し、取り組むべき課題を発見することができる。

ルーブリック：学修の評価を行う際に用いる基準表のこと。縦軸に複数の「評価項目」を置き、横軸にその「修得レベル」をいくつかの段階で定義する。「どのような項目をどこまで行うことができればどのような評価を受けるのか」という評価指標が記述によりわかりやすく明示される。



アクティブ・ラーニングの促進



授業収録配信システム：教室内に設置したカメラで授業等の映像及び音声を収録し、その映像等をデジタル教材化し、インターネット上で配信・閲覧することができる。

【本事業の成果】	平成26年度 (実績値)	R1年度 (目標値)	R1年度 (実績値)
アクティブ・ラーニングを受講する学生の割合	15.8%	50.0%	58.8%
学生の授業外学修時間 (週あたり)	10.1時間	22.5時間	18.7時間

本事業により、学生の学修をよりサポートするICT環境へと発展することができ、学生が主体的に授業に参加し、授業展開の中心的存在となる姿勢を醸成することに寄与する